



2026年9月17日

各 位

会 社 名 株式会社プロディライト
代表者名 代表取締役社長 小南 秀光
(コード番号: 5580 東証グロース市場)
問合せ先 取締役管理本部長 吉田 圭子
(TEL. 06-6233-4555)

当社主要K P I (2026年8月度) に関するお知らせ

日頃より当社へのご関心を賜りありがとうございます。当社では、情報発信の強化及びフェアディスクロージャーの観点から、月次で当社の主要K P Iである「INNOVERA PBXのアカウント数」、「IP-Lineのチャンネル数」の推移を開示しております。この度は、2026年8月度月次決算を反映し、下記の通り開示させていただきます。

なお、公表させて頂く数値は、あくまで公表時点の数値となりますのでご了承賜りますようお願い申し上げます。



お知らせ：2026年9月度分の開示から、システムによるストック収益の規模・成長性・継続性をより適切にお伝えするため、主要K P Iを変更します。なお、新K P Iに回線サービスは含めません。変更の背景及び新K P Iの内容は以下をご覧ください。

1. 主要K P Iを変更する背景と目的

これまで開示してきたアカウント数及びチャネル数は、サービス利用規模の拡大状況を把握するうえで有効な指標であり、これまで当社事業の成長を示す重要な指標として開示してまいりました。しかし、IP-Lineのチャネル数は同時通話可能数であり、実際の通話量や通話料収入とは必ずしも連動せず、余剰チャネルの整理や当社提供の別回線への切り替えにより、減少しても回線売上への影響が限定的な場合があります。このため、今後は「INNOVERA」を中心とするシステムのストック収益の規模、成長性、収益性及び継続性を把握できるK P Iへ変更します。なお、本変更は回線事業の重要性が低下したことを意味するものではありません。

2. 新たに採用する主要K P I

新K P Iはシステム「INNOVERA」のストック売上（MRR／ARR）を中心に、成長率（YoY）、LTV、顧客数及び解約率を主要K P Iとして開示し、当社の事業実態や成長性をより分かりやすくお伝えしてまいります。

新K P Iの定義・算定方法は以下のとおりです。

新K P I	当社における定義・算定方法
MRR [INNOVERA] (月次経常収益)	ARPU※1 × INNOVERA契約社数
ARR [INNOVERA] (年間経常収益)	対象月のMRR × 12ヶ月
YoY [INNOVERA] (売上高成長率)	前年同月比
LTV [INNOVERA] (顧客生涯価値)	ARPU※1 × INNOVERA平均利用継続月数※2
顧客数	請求が発生する顧客数
解約率	当月の完全解約社数 ÷ (当月末顧客数 + 当月の完全解約社数)

※1 1社あたりの平均月額利用売上

※2 INNOVERA平均利用継続月数＝42.5ヶ月

当社は今後も、投資家の皆様に対して当社事業の状況をより分かりやすくお伝えできるよう、継続的な情報開示の充実に努めてまいります。

以上